

東電福島第1原発事故の早期収束、すべての原発被害の迅速かつ完全な回復 及び原発政策の根本的転換を求める決議

2011年3月11日午後2時46分、巨大地震と大津波が東北地方を襲った。さらに東京電力福島第1原子力発電所は、炉心溶融（メルトダウン）をともなうINESレベル7の重大事故を引き起こした。この事故にともなう被害は未曾有の規模で広がっているばかりか、未だ収束の見通しすら立っていない。

核燃料が溶融し、圧力容器・格納容器が損傷・破壊され、大気や海洋への放射性物質の放出が続いている。炉心冷却のために水を注入しても、高濃度汚染水となって建屋内に溜まり続け、さらに海にまで流出する事態を引き起こしている。燃料プールに溜められた使用済核燃料も、今なお放射線を放出し続けている。

しかも、核燃料の冷却と放射能の封じ込めは成功しておらず、福島第1原発から排出された放射性物質は、福島県をはじめ広範囲に降り注ぎ、高濃度の環境汚染が続いている。汚染された地域では、住民の生活、労働、事業活動の基盤が根こそぎ破壊された。多数の住民が故郷を追われ、いつ終わるともしれない過酷な避難生活を余儀なくされている。被災した住民の健康や生活に対する不安は極めて深刻である。

この間、政府も東京電力も国民に対して「直ちに健康には影響はない」などと繰り返すだけで、長期間にわたる放射線の人体影響について具体的かつ的確に説明せず、周辺住民の不安と向き合おうとはしなかった。

この重大事故は、歴代政権が、電力会社、マスコミ、一部学者らと一体となって進めてきた原発推進政策の帰結である。原子力発電の危険性を指摘する様々な言論があったにもかかわらず、これらを見做し・抑圧しながら「原発の安全神話」を作り上げ、原発政策を推進してきたが、この「神話」は完全に崩壊した。福島第1原発事故は、「原発の安全神話」まで作り上げて原発推進政策を進めてきた国や電力会社によって引き起こされた人災である。

そして、福島第1原発事故は、原子力発電所が、一旦事故を起こすならば、被害の規模と深刻さは極めて大きく、被害回復には莫大な費用と時間を要することを明らかにした。歴代政権は、原発はクリーンエネルギーであるとして推進政策を進めてきたが、今回の事故で、原発はクリーンでも環境に優しいものでもなく、一旦事故が起きれば甚大な被害と莫大な損害が発生し、決して低コストで安全なエネルギーではないことが明らかになった。原発依存のエネルギー政策は根本から見直されなければならない。

老朽化に加え活断層の真上に立地し近い将来高い確率で東海地震が起これば指摘され「世界一危険な原発」と言われている中部電力浜岡原発について菅首相は、その停止を求め、中部電力もこれを受け入れた。しかし、その危険性に鑑みるならば単なる停止ではなく、即刻「廃炉」とすべきである。

また、浜岡原発に限らず、日本中に地震の被害と無関係な原発は存在しない。福島原発事故以降、全国各地の原発で大小様々な異常が発見されている。安全に対する重大な疑念を抱えたまま運転を認めることは到底できない。

自由法曹団は、政府と電力会社に対して、速やかに以下の被害者救済策、事故対策を実行することを求めるとともに、今回の未曾有の大災害を受けて、原発依存の電力政策の根本的転換を求めるものである。

- 1 一刻も早く原発事故を収束させるため、あらゆる方策を講じ、これ以上の被害の発生・拡大を阻止すること。
- 2 事故の現状、放射性物質の拡散状況について、情報を隠すことなく、国民に対して迅速に開示するとともに、その拡散を防止し、汚染された地域については速やかに除染すること。
- 3 事故現場の最前線で作業を担う労働者の労働安全環境への配慮をし、今後の健康管理に努めるとともに健康被害が発生した場合の完全な補償をすること。
- 4 すべての住民と事業者が、事故発生時と同じ生活及び事業活動を再び行うことができるようになるまで、国・東電の責任においてその生活と事業を迅速かつ完全に補償すること。
- 5 住民の被ばく調査を今後、継続的に実施して健康管理を徹底すること。その場合の健康管理は国・東電の責任と負担において行うこと。
健康被害が生じた場合には、住民の健康管理と医療のための完全な補償を行うこと。
- 6 新規計画中の原発建設計画は白紙撤回し、これ以上の増設は中止すること。
当初の稼働予定期間を終えた原発は即時に運転を停止すること。
現に定期点検中等で停止している原発については、運転再開を認めないこと。
国内にある全ての原発について廃炉に向けた具体的計画を策定すること。
- 7 国内にある全ての原発が廃炉されるまでの間、経済産業省からも電力会社からも独立した原子力の安全監視体制を構築すること。

2011年5月23日

自由法曹団2011年5月研究討論集会